

■ 利用時間のご案内

開放時間 9:00～16:30
 視察受付 9:00～16:00(要事前申込)
 閉庁日 年末・年始(12月29日～1月3日)

■ 用地／施設概要

施設用地:55.6ha
 施設区17.2ha、ほ場区32.9ha、緑地緩衝帯5.5ha
 ○施設区:
 本館施設9,635㎡、屋外研究施設22,963㎡、
 屋外開放施設7,333㎡
 ○ほ場区:
 水田11.6ha、畑11.8ha、貯水池0.2ha、
 道水路等9.3ha
 緑地緩衝帯:山林緑地3.2ha、防風林帯2.3ha

主な施設:

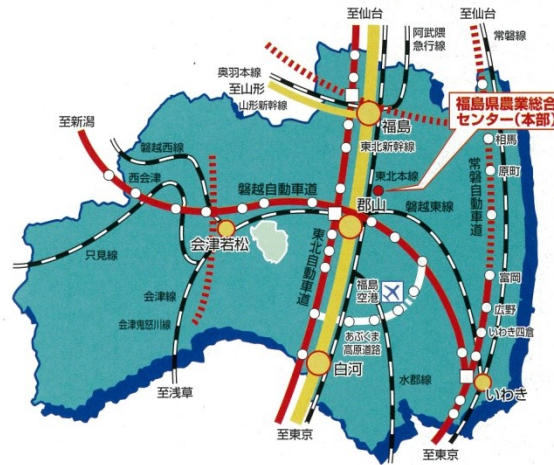
- 本館:管理研究棟、実験棟、交流棟
- 展示施設:展示母屋、展示温室
- 研究施設:イネ直播適性検定施設、気温勾配実験棟、
自然勾配ライシメーター、各試験温室

■ 主要交通機関からの所要時間

JR郡山駅から…タクシーで約20分
 JR日和田駅から…タクシーで約10分
 JR五百川駅から…タクシーで約5分
 または徒歩で約30分
 本宮ICから…車で約7分
 郡山ICから…車で約25分



■ アクセスマップ(農業総合センター本部)



■ 農業総合センター本部周辺図



施設概要・アクセス

農業の試験研究、教育及び
 安全な生産を総合的に推進する
 福島県農業のシンボル

福島県 農業総合センター

Fukushima Agricultural Technology Centre



ご案内



うつくしま、ふくしま。
 福島県

5つの機能が連動する福島県の農業振興の拠点



福島県農業総合センターは、技術開発機能を核に、安全・安心な農業を推進する機能、農業教育機能を兼ね備えた本県農業振興の拠点です。

試験研究体制を強化し、農業者に対する技術支援を行うほか、開放施設（交流棟、展示農園等）を活用して消費者や子ども達へ農業の魅力や重要性を伝えていきます。

1 技術開発・企画調整機能

共通研究部門（経営・作業技術・生物学・生産環境）、専門研究部門（水田畑作・園芸・果樹・畜産）、地域研究部門（会津・浜）が緊密に連携し、実用性の高い技術の迅速かつ効率的な開発に取り組めます。

2 地域農業支援機能

地域農業を支援するため、既存の技術のみでは解決が困難な地域の課題に対し、現地の普及指導員、農業者、農業団体及び市町村等と共同して解決にあたります。

3 先進的農業者育成・支援機能

先進的な技術や最新の知見を営農条件に合った形に組み立て、実用的な新技術として生産現場に適応させることにより、複雑化・高度化する生産現場の課題解決の迅速化を図ります。

農業教育面では、農業短期大学校と一体的に地域を先導する農業後継者の育成に取り組めます。

4 食の安全・環境と共生する農業支援機能

農業の振興には、環境に配慮し、消費者のニーズを重視して農産物を生産してゆくことが重要であるため、農業生産面からの環境保全や農薬等生産資材の適正使用の推進、農産物の安全性の確保に積極的に取り組めます。

また、県内における有機農業の普及拡大を強力に支援します。

5 県民との交流・情報発信機能

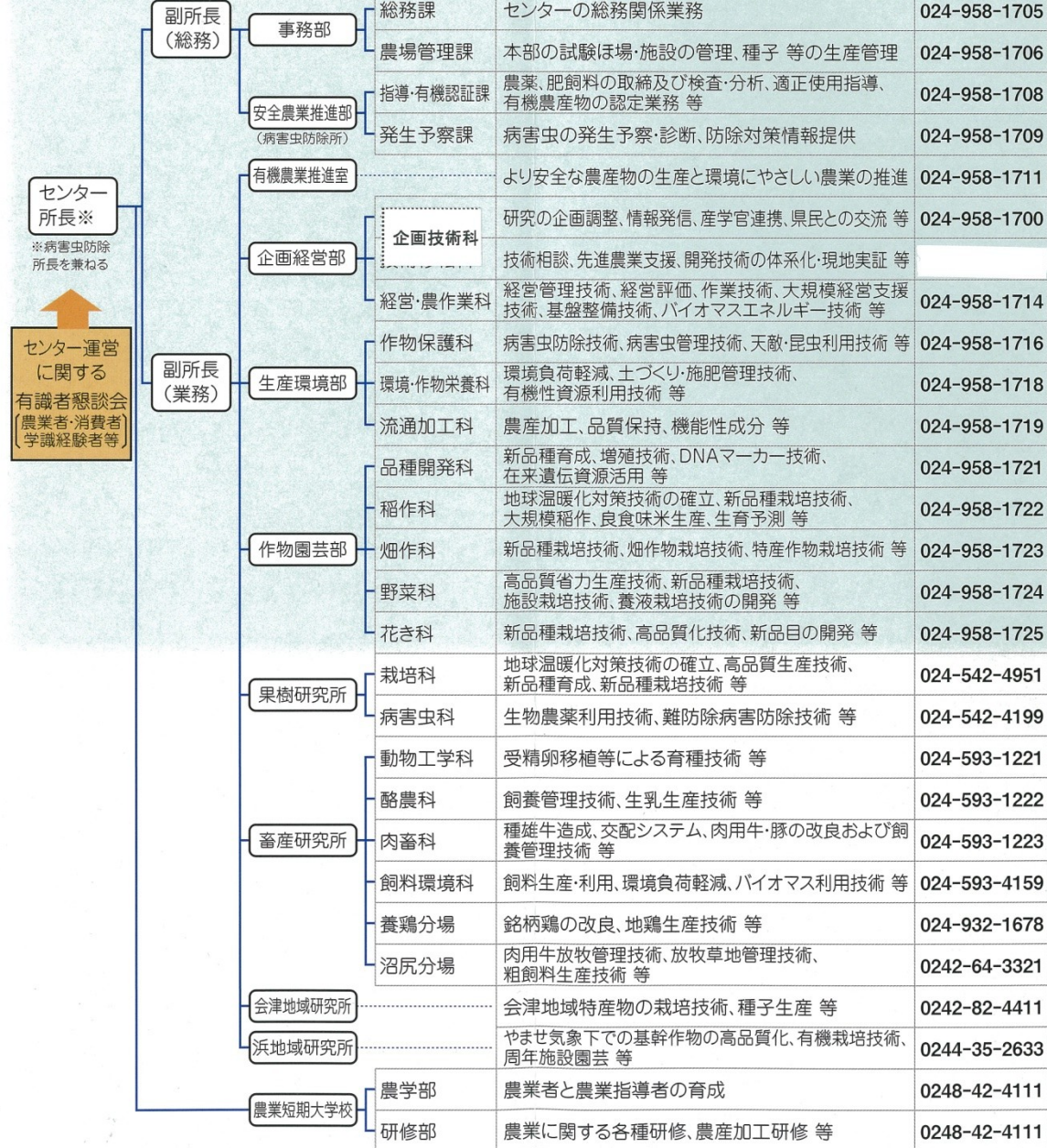
センター整備の基本理念の一つである「開かれた試験研究機関」を具現化し、県民の様々な期待に応えられる交流・学習拠点としての役割を果たすため、県民の憩いの場や、子供たちの農業体験、食農教育、高齢者の生涯学習等の機会を提供します。



主な業務内容と連絡先

代表 TEL:024-958-1700
FAX:024-958-1726

センター本部内組織



センター
所長※
※病害虫防除
所長を兼ねる

センター運営
に関する
有識者懇談会
(農業者・消費者
学識経験者等)

■ 事務部

農業総合センターの総務、予算及びほ場、施設の管理業務や、稲・麦・大豆、オリジナル品種の種苗の生産管理業務を行います。

■ 安全農業推進部(病害虫防除所)

● 指導・有機認証課

農業、肥料、飼料の取締及び検査・分析、適正使用指導、有機農産物の認定業務等を行います。

● 発生予察課

病害虫発生予察調査、病害虫発生予察情報の提供、効果的な病害虫防除対策に関する調査等を行います。



■ 有機農業推進室

より安全な農産物の生産と環境と共生する農業を推進するため、「ふくしま型有機栽培」等の普及拡大による産地づくりを全体的に推進します。

■ 企画経営部

● 企画技術科

総合窓口として、試験研究の企画調整、産学官連携の推進、広報誌の発行及び県民交流イベント等を企画、運営します。

農業技術に関する相談等を受け付けます。また、普及組織との連携を深め、現地実証による新技術の確立と研究成果の普及定着を進めます。

● 経営・農作業科

合理的な経営管理手法の開発、中山間地域等における地域計画の支援、地域農産物の有利販売のためのマーケティング・リサーチ、軽労化のための農業機械の開発改良並びに基盤整備技術、バイオマスエネルギー技術等の研究を行います。



■ 生産環境部

● 作物保護科

病害虫から農作物を適切に保護する防除技術等の研究開発を行います。

● 環境・作物栄養科

土壌・水・大気など環境に優しい施肥及び各種資材の施用技術、有機性資源の循環利用技術等の研究開発を行います。

● 流通加工科

魅力ある県産農産物・加工品を生産・流通させるため、加工技術や農産物の鮮度保持技術等の研究開発を行います。



■ 作物園芸部

● 品種開発科

「病害に強い」、「機能性成分を多く含む」など優良な特徴を有するオリジナル品種を育成します。

● 稲作科

気象変動に対応した生育診断技術、地球温暖化対策技術、高品質生産技術及び水稻の有機栽培技術等の研究開発を行います。

● 畑作科

麦、大豆の生産拡大、地産地消推進のための高品質安定生産技術、葉たばこ、こんにゃく、養蚕等の地域特産物の生産を支援する栽培技術等を開発します。

● 野菜科

栄養診断技術を活用した野菜の高品質省力生産技術や有機栽培、ふくしま型ネットハウス栽培など付加価値を高める栽培技術の開発と、伝統野菜の安定栽培技術等の研究開発を行います。

● 花き科

本県主要花きの有利販売のための高品質生産技術や新たな需要を創出する新品目に関する研究開発を行います。



各部(センター本部)の紹介

福島県のオリジナル品種

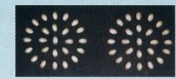
農業総合センターで開発したオリジナル品種の一部を紹介いたします。(畜産、きのこを除く)

☆ふくみらい(うるち米)



栽培しやすく、収量性があり、食味・品質ともに良好な品種です。

☆夢の香(酒造好適米)



玄米の中心が白濁する「心白」の発現が良好です。
(写真左:夢の香、右:五百万石)

☆会津のかおり(ソバ)



秋そば向きの品種で、製麺時の評価では、水の浸透性が良く延ばし時の割れが少ない等、製麺時の操作性に優れます。

☆ふくしまかれん他(りんどう)

「ふくしまかれん」「ふくしましおん」「ふくしまほのか」など、開花期の異なる5品種を開発しました。



☆ふくあや香、ふくはる香(イチゴ)



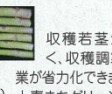
厳寒期の早勢の低下が少なく、糖度は高く、酸度がやや高く、食味が良好です。

☆はるむらさき(紫アスパラガス)



収穫若茎が紫色に着色する紫アスパラガス品種で、グリーン品種と比べて甘味が強く、軟らかく、筋が残りにくいです。

☆ハルキタル、春まちグリーン(グリーンアスパラガス)



ハルキタル↑
生産物の揃いが良く、全雄系統のため野良苗の発生がありません。

収穫若茎が太く、収穫調製作業が省力化できます。
↓春まちグリーン

☆かいしゅうさん(オタネニンジン)



左:会津在来種
右:かいしゅうさん

☆きぬゆたか(葉)



生育が旺盛で、根の形が良く、加工した時の品質が優れているのが特徴です。

☆はつめ他(モモ)



☆あづまずく他(ブドウ)



☆涼豊(ナシ)



☆緋のあずま他(リンゴ)



記載されている名称は、平成21年3月時点で登録(申請を含む)のものです。

福島県農業総合センター

〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道116番地
TEL 024-958-1700 FAX 024-958-1726
HP <http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/>

沿革

- 明治29年 (1896年) 安積郡小原田村(現郡山市小原田)に農事試験場(後の農業試験場)を創設
- 明治34年 (1901年) 安達郡高川村(現郡山市熱海町)に種馬飼育場(後の畜産試験場)を設置
- 大正3年 (1914年) 伊達郡梁川町(現伊達市)に原蚕種製造所(後の蚕業試験場)を設置
- 大正14年 (1925年) 田村郡片曾根村(現田村市)にたばこ試験場を設置
- 昭和10年 (1935年) 信夫郡平野村(現福島市飯坂町)に農事試験場信達分場(後の果樹試験場)を設置
- 昭和10年 (1935年) 西白河郡矢吹町に県立修練農場(後の農業短期大学校)を設置
- 昭和11年 (1936年) 郡山市に種鶏場(後の養鶏試験場)を設置
- 昭和27年 (1952年) 県内16ヶ所に病害虫防除所を設置
- 昭和37年 (1962年) 福島市に肥飼料検査所を設置
- 平成18年 (2006年) 農業試験場、果樹試験場、たばこ試験場、畜産試験場、養鶏試験場の試験研究機関と、農業短期大学校及び病害虫防除所、肥飼料検査所を再編統合し、福島県農業総合センターが発足。



各研究所・農業短期大学校のご案内

各専門研究所・地域研究所と農業短期大学校が、本部と連携し福島県の農業技術を支えます。

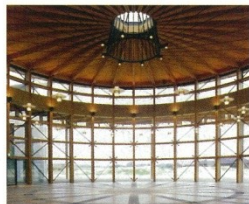


- 本部：郡山市日和田町高倉字下中道116番地
TEL 024-958-1700
- 果樹研究所：福島市飯坂町平野字檀の東1番地
TEL 024-542-4191
- 畜産研究所：福島市荒井字地蔵原甲18番地
TEL 024-593-1221
- 同養鶏分場：郡山市富田町字満水田2番地
TEL 024-932-1678
- 同沼尻分場：耶麻郡猪苗代町大字蚕養字日影山乙3696番地
TEL 0242-64-3321
- 会津地域研究所：河沼郡会津坂下町大字見明字南原881番地
TEL 0242-82-4411
- 浜地域研究所：相馬市成田字五郎右工門橋100番地
TEL 0244-35-2633
- 農業短期大学校：西白河郡矢吹町一本木446番地1
TEL 0248-42-4111

■ 展示施設のご案内

農業総合センターでは、年末年始の閉庁日を除き、平日および土・日・祝日には展示施設（図書室、成果展示室、展示母屋、展示農園、散策路）を一般の方々に開放しています。

成果展示室



研究成果の展示を行っています。

図書室



県民の方を対象に、1回に3冊（2週間）まで貸出しています。

展示母屋



古い農機具等の常設展示、展示温室では花や野菜等の研究成果等の展示を行っています。



展示農園・散策路



季節により稲・麦・雑穀や、梅・ブルーベリー等の見本を展示しています。また、散策路では季節の花々や水車小屋もご覧いただけます。



■ 視察見学のご案内

農業総合センターの視察見学を希望される場合には、事前に電話連絡のうえ、視察見学申請書にてお申し込みください。自由見学の場合には、申請不要です。

（連絡先：企画技術科024-958-1700）

- 一般的な施設見学コース（案内付き）
…所要時間1時間程度
 - 食と農の応援研究員コース（特定のテーマ学習）
…所要時間30分～1時間程度
- ※食と農の応援研究員コースについては、平日のみの対応です。希望するテーマを申請書に記入のうえ、申請してください。

■ 開放実験室のご案内

実験室に備えられている機器を利用して、水や土壌の分析、米や青果物の成分分析、虫や植物の観察などができる施設です。機器の使い方については、センターの職員が指導します。

利用しようとする日の3日前までに利用申請書にてお申し込みください。

（連絡先：企画技術科024-958-1700）

- 利用時間…平日9:00～16:30まで
（土曜、日曜、祝日は利用できません）
- 利用料金…無料（ただし、試料サンプル持参）
※営利を目的とした利用はできません。

■ 会場使用について

大会議室・多目的ホール（有料）の使用を希望される場合には、事前に電話連絡のうえ、使用承認申請書にてお申し込みください。

（連絡先：総務課024-958-1706）

- 利用時間
全日利用9:00～17:00
（例：11時～15時使用の場合は全日となります。）
半日利用：午前 9:00～13:00
午後 13:00～17:00
 - 利用可能人数
大会議室…スクール形式で約90名
多目的ホール…スクール形式で約200名
- 視察見学申請書・開放実験室利用申請書・使用承認申請書は、ホームページからダウンロードできます。
<http://www4.pref.fukushima.jp/nougyou-centre/>